



吼天

題字 = (チャーターメンバー) 前県議員故武藤彬氏

333 B地区1R3Z 40年度(2005.7~2006.6) 常陸太田ライオンズクラブ会報 58号 (上)

国際会長:L.アショク・メータ
(インド ムンバイ)

国際会長 テーマ
「飛躍への情熱」

地区ガバナー:L.柴 利夫(真岡LC)

ガバナー スローガン
「1.分度 2.推譲 3.積小為大」

地区アクティビティ スローガン
「地域共生の奉仕」

会長方針

1. 地域に密着した活動により、共生を考えよう
2. 過去に学び 未来を見つめて40周年を成功させよう。

発行 常陸太田ライオンズクラブ40代会長 白土隆彦

監修・製作

担当(第二)副会長 武藤 均

IT・PR・ライオンズ情報委員会委員長 根本龍司

同委員会 城石毅 伊村智安 矢部由次

事務局 313-0006茨城県常陸太田市宮本町394

事務局員 穴戸富子

電話 0294-73-0769 FAX 0294-73-0831

ホームページ <http://park3.wakwak.com/~lions/>

会員専用DB <http://www.egroups.co.jp/group/ota-lc/>

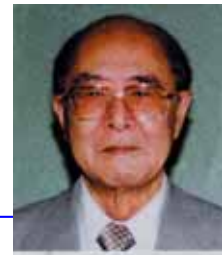
電子メールアドレス lions@ar.wakwak.com

会員専用メーリングリスト ota-lc@yahoogroups.jp

発行日 2005年7月吉日

魅力あるクラブづくりを

ライオン誌日本語版編集員 L.木村敬之介



ライオン誌
日本語版委員
●
木村敬之介

2005年7月号 the LION より

私は以前、クラブ活性化の推進を提言致しました。

その実現には、たいへんな努力が必要と思われます。そのための方法として、まず魅力あるクラブづくりが第一と考えられます。そこで次に魅力あるクラブづくりのため、種々考えられることを断片的な言葉で羅列してみました。一つでも参考に活用して頂ければ幸甚に存じます。

- ライオンとしての誇りを持ちましょう
- 互いに信頼関係を強く築き、同志的結束を固めましょう
- 思いやりの心を持って地域の人々に接しましょう
- 思いやりとは相手の立場に立って考え、行動することが必要です
- 地域の人々に嫌われないように努力しましょう
- 哀れみの眼で相手を見ることはよしましょう
- 相手の立場に立って、悩みを分かち合いましょう
- 人の話は良く聞いて、共に話し合って理解しましょう
- だれもが自由に発言出来る雰囲気を持つクラブ運営を心掛けましょう
- 討論は活発に、人の発言を抑え付けないようにしましょう
- 若い世代のメンバーの力や考えを積極的に取り入れる努力をしましょう
- @お互いに相手の美点を引き出す努力をしましょう
- 協力と結束の出来る雰囲気を作りましょう
- @アクティビティは地域のニーズにこたえることを優先しましょう
- 他クラブの良いところは吸収し活用しましょう
- 人まねはやめてクラブ独自の企画をメンバーで考えて実行しましょう

そのほか、いろいろな方法が考えられると思いますが、それぞれのクラブに適合した具体策を企画、実行して魅力あるクラブとして地域に理解され、また、若い世代がたくさん入会出来るよう門戸を広く開いてほしいものです。

私のライオン誌編集委員の任期は六月末までで、この「編集室」を書くのも最後です。微力な私に寄せられました関係各位のご協力とご支援に心より感謝を申し上げ、筆を置きます。ライオンズが未来永劫に、その光を灯し続けることを祈念致します。

ウィ・サーブ

たいへん教訓的言葉でありましたので、ここに本人の許可を頂き、再掲いたしました。

現在は、編集員を退き、ライオンズクラブ国際協会333複合地区 エクステンション委員長、333-B地区 常任名誉顧問 を務めておられます。

三役

40年度(2005.7～2006.6)常陸太田ライオンズクラブ三役

会長に就任して

常陸太田LC 会長白土隆彦

40年を数える歴史と伝統ある常陸太田ライオンズクラブ会長を拝命しその運営を任されることになり改めて身の引き締まる思いであります。

小澤会長による鬼怒川の年次大会で盛り上がりホットする間もなく活動がスタートして居り改めてエンドレスを感じています。

私は本年度会長方針と致しまして、

1)「地域に密着した活動により共生を考えよう」

を挙げました。これはガバナースローガンを受けたものでありまして、地域市民及び他のボランティア団体との連携による事業展開の中で奉仕の心と行動を考えていくと言うことであります。

2)「過去に学び未来をみつめて40周年事業を成功させよう」

これは、40周年実行委員長の意を呈しての方針であり賢明なメンバー一人一人のすばらしい英知と努力をいただきながら節目である40周年の記念式典・記念事業を地域貢献を念頭においたクラブ活動を基本に展開してまいりたいと考えております。

不況による社会情勢の低迷も長期に渡って居ります中、メンバー数も結成以来の最小と聞いています。ライオンズクラブの活動・行事も改革期に入っていると思います。本年の周年行事を契機に活性化進展を願い、伝統と誇りを継承し、新生常陸太田市と共に常陸太田ライオンズクラブの今後の一大飛躍と発展を期待出来る一年にしてまいりたいと考えております。

メンバー各位の一層のご協力を重ねてお願い致しまして挨拶と致します。



一年間の抱負

幹事 立川久泰

今年度幹事の大役を務めさせていただきますし、立川久泰です。まだまだライオンとしての経験も浅く人間としても未熟でありますので、この一年間どの様にしていこうかと思うとき、抱負より不安の方が先に立ちます。

6月に真岡で行われた三役スクールでの『柴利夫』今年度ガバナーのスローガン「分度」「推譲」「積小為大」の話聞き、自分なりに考え自分の能力に応じた仕事をし、少しずつ積み重ねることで何らかの成果を得られればと思うようになり少し肩の力が抜けた気持ちです。

今年度は40周年という節目を迎え、白土会長の方針である「地域に密着した活動による共生や過去に学び、未来をみつめる40周年事業」といった大きな目標を成功させるため精一杯の努力をして行きますが、何と言ってもクラブ会員全員の団結が必要です。

共に頑張っていきましょう。楽しい例会をとの声があります。面白おかしくワイワイ騒ぐのが楽しい例会であるとは思いません。会員同士の理解を深め、互いの力を認め合い一つの事業に自分の役割をきっちり果たす。時には議論を闘わせるのも良いと思います。そうして結果を出し、互いを称え合っこそ楽しい例会に結び付くように思います。まず例会に出席し、事業に参加する事だと思います。

皆様で楽しい例会を創っていきましょう。この一年間よろしくお願ひします。



クラブ会計を拝命して 会計 L. 菊池健一

長い間在籍はしていましたが、まさか今年三役の拝命があるとは思ってもしなかった。今になって受けた以上は頑張ろうと「ライオンズ必携」などを真剣に読んだ。



クラブ会計は

1. 幹事その他からすべての金銭を受け取り、財務委員会から推薦され、理事会によって承認された銀行に預金する。
2. 理事会の承認によってのみ支払いを行う。すべての小切手および領収書には会計の署名のほかに理事会の決定する役員の連署が必要である。
3. クラブの収入と支出の全般的な記録を保管する。
4. 会計報告書を作成し、本クラブ理事会には毎月、国際本部には半期ごとに提出する。
5. 理事会の要求があれば、職務遂行に対して保証金ないしこれに代わる担保を提出する。

とある、この際だから初心みんなで勉強いたしましょう。
伝統ある常陸太田ライオンズクラブの活動に、この一年、先輩の皆さんのご指導を頂き、L会長、L幹事と三者一体となって頑張っていますので、皆様方のご指導ご協力をよろしくお願ひいたします。

副役なので挨拶はありません。

副幹事：L. 根本龍司（ソフト案内人）
副会計：L. 武子英二（ソバ案内人）

会長プロフィール

L. 寺門乙二



白土隆彦会長のご紹介をいたします。
会長就任おめでとうございませう。精一杯の活躍祈念いたします。

L. 白土隆彦は当時峯山中学校のPTA会長として、強力な信念を持って、リーダーシップを発揮して活躍している姿に共感し、会長の先輩として是非ともライオンズクラブで情熱ある活動を期待してライオンズクラブに推薦いたしました。

生年月日 1938年12月26日（66歳）

常陸太田市磯辺町617 白土洋服店経営
現職

常陸太田市青色申告会会長
青色申告会太田税務署管内連合会副会長
NPO法 明るい社会作り運動、常陸太田
地方推進協議会会長
常陸太田市体育協会佐竹支部長

尚、峰山中学校PTA会長 5期5年間勤めておりました。

ライオンズ歴

1981年 10月 常陸太田LC 入会

1996年 クラブ会計

2000年 L. 菊池保裕会長の元で、クラブ幹事を務め、クラブ結成35周年式典挙行。

2002年 第三副会長

2003年 第二副会長

2004年 第一副会長

2005年 クラブ会長に就任。名誉あるクラブ結成40周年記念式典の会長と重責を荷う幸運の縁をもっております。

また、私が1R3Zのゾーンチアマンの役職にあった時は、クラブ会計として、また、1Rのリジョンティアマンの役職の時は、クラブ幹事として、各々所属クラブの三役として、支援し

構成

例会 日時・会場（特別例会を除く）

日時 毎月第2・4木曜日
会場 常陸太田市商工会館
0294-72-5533
常陸太田市中城町3210

（夏期）5月～9月
19:00～20:15
（冬期）10月～4月
18:30～19:45

定例理事会 日時・会場 （都合により変更は認める）

日時 毎月第1火曜日
（夏期）5月～9月
19:00～20:15
（冬期）10月～4月
18:30～19:45

場所 レストランばんび
0294-72-4541
常陸太田市木崎二町874

40年度委員会の組織は前年度と同じ。

委員長 副委員長は次ぎ通り。

第1副会長（井坂 勤）

出席・会員委員会 川崎 平山

財務・計画・接待 木下 渡辺

会則及び付則・指導力育成 鈴木 檜山

第2副会長（武藤 均）

IT・PR・情報 根本 城石

環境保全・アイヘルス 塩原 赤須

献血・献眼・献腎推進 秋山 藤田

ライオネスクラブ 中川 大和田

第3副会長（石川一博）

市民奉仕・レクリエーション
武藤（泰） 町田 坪

青少年指導・教育奉仕 西野一 菊池
社会奉仕 鈴木 立川 安藤

特別委員会（会長）

秋田交流特別 小澤 助川
クラブ運営検討特別 小又 宮田
ふるさと活性特別 川又 根本

運営・事業計画の各委員会の留接点

1. 次年度会長方針並びに基本姿勢について

会長方針

1. 地域に密着した活動により、共生を考えよう。
2. 過去に学び、未来をみつめて40周年事業を成功させよう。

基本姿勢

クラブの活性化とライオニズムの高場を図る為、国際会長・地区ガバナーの意を体しクラブの伝統を守りつつライオニズムの原点に帰り、クラブの内容の充実に努める。

2. 3. 省略

4. 次年度運営・事業計画の各委員会の留接点について

定着した運営・継続事業は継承し、内容に新鮮味を加味する。又新企画を立案し、提言する。

(別紙現年度例会計画・事業委員会別A C T記録参照)

・ 運営計画(第1副会長担当)の各委員会

1. 出席

出席の重要性強調、出席率向上の施策立案、メイクアップ規則の周知・活用、Tel・FAX・Eメール等連絡網の確立、出席賞制定(年次大会で表彰)他

2. 会員 増強計画の作成と達成、退会防止対策

スポンサー会員の責務他

3. 財務

年度予算案(運営費・事業費・会食費・特別会計・年会費)の編成、取引銀行の推薦他

4. 計画

出席率向上と会員弘和の例会計画案の作成、会食内容の検討他

5. 接待 新会員招請に協力

ゲストスピーカーの歓迎と接待他

6. 会則及び付則

会則・付則の検討整備と周知、慶弔規定の検討他

7. 指導力育成

指導力育成のプログラム作成、会員意識の高揚他

運営・事業計画(第2副会長担当)の各委員会

1. P R

吼天・例会レポートの刊行(例会報告・会員消息・A C T報告・ライオンズ情報、ゲスト講話)ライオン誌日本語版活用、会報の配布と交換、紋章記章の使用奨励他

2. ライオンズ情報

国際協会・複合地区・地区・クラブの情報提供他

3. I T (情報テクノロジー)

インターネットホームページ・メール設置への研究・準備推進等

4. 環境保全 自然との調和共存への努力

ふるさと活性特別(委)の実施する緑化事業の推進
環境問題の調査・解決策の検討、関係機関との交流等

5. アイヘルス 糖尿病網膜症緑内障の認識周知

失明予防の啓発活動等

6. 献血 献血事業の推進、献血P R紙の発行

関係機関との連携等

7. 献眼

登録者の名簿整理と確保、献眼発生時の対応確立等

8. 献腎推進 献腎登録推進対策の研究等

9. ライオネスクラブ

L S Cの運営指導、L C奉仕活動への協力要請等

事業計画(第3副会長担当)の各委員会

1. 市民奉仕

地域市民のニーズを収集し対策の企画と助成等

2. レクリエーション ゲートボール大会の開催

チャリティゴルフ大会の企画

R・Z・他クラブのゴルフ大会への参加協力等

3. Y E

来日Y E生受入家庭への助成、Y E生歓迎会の開催等

4. 青少年指導

薬物乱用防止活動の推進、バレーボール大会の開催
青少年関係団体の活動助成、青少年育成事業の推進等

5. 教育奉仕

青少年教育助成、恵まれぬ子への援助対策の企画と実施等

6. 社会奉仕

敬老感謝ふれあいの集い開催、ライオンズ奉仕デーの企画等

特別委員会(会長・前会長担当)

特別委員会は必要に応じ開催、会長及び理事会の諮問に答える。

2005.7~2006.6年度
常陸太田ライオンズクラブ委員会構成表

会長 白土隆彦
72-0273

333-B地区常任名誉顧問
木村敬之介
72-0779

【クラブ運営検討特別委員会】

- ◎ 小又克己
- 宮田欣三
- 木村敬之介
- 寺門乙二
- 伊村智安

【理事・会計監査委員】

副幹事	根本龍司	二年理事	立川 新
副会計	武子英二	一年理事	大和田幸雄
LT	武藤泰彦	〃	鈴木 守
副LT	矢部由次	〃	赤須康雄
TT	藤田 守	〃	中川 倫
副TT	田子末男	〃	助川是也
会員理事	川崎卓男	〃	秋山敬一
二年理事	寺門乙二	監査委員	小又克己
〃	木下順曠	〃	板橋英治
〃	菊池保裕	LS連絡員	中川 倫
〃	城石 毅		
〃	鈴木 栄		

40周年実行委員長

寺門乙二

前会長

小澤浪男

幹事

立川久泰

会計

菊池健一

第一副会長

井坂 勤

第二副会長

武藤 均

第三副会長

石川一博

【出席・会員委員会】

- ◎ 川崎卓男
- 平山泰弘
- 宮田欣三

【PR・IT・ライオンズ情報委員会】

- ◎ 根本龍司
- 城石 毅
- 伊村智安
- 矢部由次

【市民奉仕・レクリエーション委員会】

- ◎ 武藤泰彦
- 町田聖治
- 坪 正雄
- 澤橋俊彌
- 武子英二
- 田子末男
- 小林 等

【財務・計画・接待委員会】

- ◎ 木下順曠
- 渡辺 斉
- 寺門乙二

【環境保全・アイヘルス委員会】

- ◎ 塩原俊文
- 赤須康雄
- 梶山弘志

【青少年指導・YE・教育奉仕委員会】

- ◎ 西野 一
- 菊池保裕
- 助川是也

【会則及び付則・指導力育成委員会】

- ◎ 鈴木 守
- 檜山幸平
- 梅原栄次
- 尾関雪路

【献血・献眼・献腎推進委員会】

- ◎ 秋山敬一
- 藤田 守
- 森山一政
- 黒沢知信

【社会奉仕委員会】

- ◎ 鈴木 栄
- 立川 新
- 安藤正一
- 川又慎
- 平山義夫

【秋田交流特別委員会】

- | | |
|--------|------|
| ◎ 小澤浪男 | 平山泰弘 |
| ○ 助川是也 | 木下順曠 |
| 尾関雪路 | 川崎卓男 |
| 木村敬之介 | 鈴木 守 |
| 檜山幸平 | 赤須康雄 |
| 寺門乙二 | 菊池保裕 |
| 梅原栄次 | 中川 倫 |
| 宮田欣三 | 城石 毅 |
| 伊村智安 | |
| 大和田幸雄 | |
| 平山義夫 | |
| 藤田 守 | |
| 小又克己 | |

【ライオネスクラブ委員会】

中川 倫
(ライオネス連絡員)
大和田幸雄

【優待会員】

- | | |
|------|-------|
| 赤須信秀 | 西野 清 |
| 助川幸也 | 橋本 勲 |
| 富永祐平 | 平根喜八郎 |

ふるさと活性特別委員会

- | | |
|--------|------|
| ◎ 川又 慎 | 安藤正一 |
| ○ 根本龍司 | 石川一博 |
| 木下順曠 | 立川 新 |
| 城石 毅 | |
| 助川是也 | |
| 渡辺 斉 | |

例会場 商工会館会議室

常陸太田市巾織町3210
TEL 0294-72-5533(代)

ライオンズクラブ事務局
〒313-0006 常陸太田市宮本町394
クラブ専用電話 73-0769
FAX 73-0831
事務局 穴戸富子
(白)72-3916

◎ 委員長
○ 副委員長

理事会場 レストランばんび
本館2町874 TEL 72-4541

(2005年7月1日～2006年6月30日)

運営・事業費 収支会計予算

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
運営費会計		運営費会計	
国際協会入会金	7,500	前年度繰越金	745,653
国際会費	323,400	入会金	100,000
複合地区費	125,400	通常会費	4,416,000
地区会費	594,000	特別会費	980,000
ライオン誌特別負担金	79,200	登録料負担金	1,029,000
ゾーン会費	160,000	ファイン	2,000
		受取利息	27
年次大会派遣費	250,000	雑収入	2,320
会場費	42,000		
例会運営費	360,000		
会議費	600,000		
旅費	300,000		
通信費	380,000		
広報費	380,000		
什器備品費	250,000		
図書印刷	120,000		
事務用品費	120,000		
事務所費	120,000		
人件費	920,000		
交際費	600,000		
登録費	600,000		
頒布品購入費	50,000		
慶弔費	120,000		
会員祝品費	200,000		
エクステンション費	100,000		
雑費	100,000		
予備費	373,500		
小計	7,275,000	小計	7,275,000
事業費会計		事業費会計	
事業費	3,523,000	前年度繰越金	444,023
		事業収益	400,000
		会員寄付収入	420,000
		会員拠出金	2,107,000
		賛助金	150,000
予備費		物品販売益	1,977
小計	3,523,000	小計	3,523,000
会食費会計		会食費会計	
支払食費	1,936,000	会員会食費収入	1,274,000
予備費	0	例会特別会費収入	650,000
		ビジター会食費収入	12,000
小計	1,936,000	小計	1,936,000
合計	12,734,000	合計	12,734,000

(2005年7月1日～2006年6月30日)

事業委員会計画予算

2005.7.1～2006.6.30 事業委員会計画

委員会	実施月	計画事業	予算
委員長	L.塩原俊文	委員会計	50,000
環境保全	10月	フラワーロード管理	20,000
	5月	ライオンズの森・駅前花木管理	20,000
アイヘルス		アイヘルス啓蒙活動	10,000
委員長	L.秋山敬一	委員会計	340,000
献血	8.12月	献血奉仕 2回 (8月9日、12月13日)	110,000
		献血PR誌発行(折込料を含む) 2回	190,000
献眼	随時	献眼者慰霊・登録推進・献眼発生時の対応	30,000
献腎推進	10月	献腎・献体推進の研究	10,000
委員長	L.中川 倫	委員会計	300,000
ライオネスクラブ	8月	LSC運営・事業活動の推進指導	300,000
委員長	L.武藤泰彦	委員会計	550,000
市民奉仕	5月	第21回ゲートボール大会の開催	350,000
レクリエーション	9月	アイバンク・愛の基金助成 (チャリティーゴルフ開催による)	200,000
委員長	L.西野 一	委員会計	260,000
YE	9月	YE派遣・受入の対策研究	10,000
青少年指導	8月	市子供会育成連合会運営資金助成	20,000
	8月	青少年柔剣道大会助成	20,000
	11月	平和ポスターコンクール開催	40,000
	1月	小学生バレーボール練成大会助成	10,000
	6月	青少年育成県民会議助成	10,000
薬物乱用防止	9月	薬物乱用防止活動の推進	30,000
教育奉仕	10月	中学生英語弁論大会助成	50,000
	11月	太田二高JRC育成資金助成	20,000
	11.1月	ピロス工房・くにみの会活動助成	30,000
	11月	常陸太田市諸美術展等助成	20,000
委員長	L.鈴木 栄	委員会計	1,120,000
社会奉仕	10月	ライオンズ奉仕デー(10月8日)	20,000
	11月	敬老感謝ふれあいの集い開催(11月3日)	1,100,000
委員長	L.小澤浪男	委員会計	400,000
秋田交流特別	10.3月	秋田LCと周年行事による交流	400,000
委員長	L.川又 慎	委員会計	20,000
ふるさと活性特別	9月	歴史研究と自然観察活動	20,000
地区アクト	54人分	アイバンク協力金	54,000
	54人分	青少年育成資金協力金	54,000
	54人分	ライオネスクラブ助成金	16,200
	54人分	薬物乱用防止活動資金	16,200
	54人分	IT推進助成金	16,200
		小 計	156,600
LCIF協力金	48人分	20 \$ X150円	144,000
事業予備費			182,400
事業費総合計			3,523,000

40年度 2005.7~2006.6 常陸太田LC 例会計画

月	回	日	曜	時間	例会計画	会場	内容・ゲスト	担当委員会
7	1	14	木	19:00	国際会長、ガバナー、会長方針を理解し、クラブの充実を図る例会	商工会館		三役
	12	28	木	19:00	運営・事業計画及び予算を決定する例会	商工会館		財務・計画
8	1	7	日	15:00	地区ガバナー公式訪問(例会振替)	静ヒルズ	地区ガバナー	三役
	2	25	木	19:00	納涼例会	田子		第一副会長
9	1	8	木	19:00	40周年計画例会	商工会館	式典委員長	出席会員
	2	22	木	19:00	薬物と防犯の講話例会	商工会館	太田警察署長	少年教育奉仕
10	1	6	木	6:00	早朝例会	東バイパス		環境保全
	2	27	木	18:30	県政を聞く例会	釜平	武藤均県議	会則付則
11	1	3	木	16:00	「敬老感謝ふれあいの集い」の反省例会	龍門		献血献眼
	2	24	木	18:30	新そば味覚の例会	太田コミセン	L鈴木栄	市民レク
12	1	8	木	18:30	市政を聞く例会	生涯学習センタ	大久保太一市長	ITPR情報
	2	23	金	18:00	クリスマス例会(地区役員歓迎)	まいづる	地区役員・LSC	第三副会長
月	回	日	曜	時間	例会計画	会場	内容・ゲスト	担当委員会
1	1				新春を寿ぐ例会(国政を聞く例会)	田子	梶山弘志議員	第一副会長
	2	26	木	18:30	40周年記念式典準備例会	商工会館		献血献眼
2	1	9	木	18:30	元ガバナー・チャーターメンバーをたたえる例会	商工会館		財務計画
	2	23	木	18:30	新入会員研修例会	商工会館		出席会員
3	1	9	木	18:30	次期役員指名例会	あづま	次期役員指名	ライオネス
	2	26	日	18:30	40周年記念式典	パルティールホール		全会員
4	1	13	木	6:00	花見例会(式典反省)			第二副会長
	2	27	木	18:30	メンバー講話例会	商工会館		ITPR情報
5	1	11	木	6:00	早朝例会	ライオンズの森		環境保全
	2	25	木	17:00	ゲートボール反省例会	龍門		社会奉仕
6	1	8	木	19:00	年度報告・反省及び引継例会	商工会館		会則付則
	2	18	日		クラブ年次大会			第三副会長

40期 白土丸

2005/07/14 40期 白土丸出陣式



会長 L白土隆彦



幹事 L立川久泰

会計 L菊池健一

一年間どうぞよろしく
一年間どうぞよろしく

幹事報告

2004.7~2005.6.18

会長 小澤 浪男

幹事 澤幡 俊彌

会計 安藤 正一

1月6日定例理事会

6日新春を寿ぐ例会

【講師：衆議院議員 梶山弘志様】

15日TT, LT研修会:

ガバナーを囲んでの懇親会

21日IT, PRライオンズ情報委員会

(田子)

27日第二例会:グリーンふるさと講話例会

(商工会館)

2月7日定例理事会

10日第一例会:ライオンズ研修例会

【講師:木村常任名誉顧問】

10日1R3Z内クラブ会長会議

(常陸大宮市:与ね川)

24日第二例会:新市政を聞く例会

【講師:渡辺龍一常陸太田市長】

26日第3回地区ガバナー諮問委員会

(常陸大宮市・与ね川)

3月1日定例理事会

2日次年度役員指名委員会(田子)

10日第一例会:次期役員指名例会

(あずま)

15日市民・レク委員会(田子)

23日日立きららLC

結成記念チャリティゴルフ大会

24日第二例会:40周年計画例会

(商工会館)

4月2日日立ブーケ チャーターナイト

(シビックセンター)

3日西那須野LC30周年記念式典

(ホテルニュー塩原)

5日定例理事会

12日常陸大宮LC第23回チャリティ

ゴルフ大会(静ヒルズカントリー)

14日第一例会「花見例会」(龍門)

16日日立きららLC チャーターナイト

(日立ゴルフクラブ)

24日333-B地区第51回年次大会

(シビックセンター)

アワード受賞

社会福祉活動優秀クラブ賞

ライオンズ情報優秀クラブ賞

ライオネスクラブ活動優秀クラブ賞

IT活動優秀クラブ賞

LCIF協力賞(銀賞)

5月6日定例理事会

9日第20回ゲートボール大会出場者抽選会

(商工会館)

10日勝田グリーンLC:チャリティ

ゴルフ大会

12日第一例会「環境美化早朝例会」

12日市民・レク委員会(田子)

15日第51回複合地区年次大会

26日第20回LC杯ゲートボール大会

反省例会(田子)

6月7日定例理事会

9日第一例会:年度報告反省及び引継ぎ例会

(商工会館)

18日第4回地区ガバナー諮問委員会

(静リゾートホテル)

19日~20日クラブ年次大会(鬼怒川温泉)

2005.7~2006.6

会長 白土隆彦

幹事 立川久泰

会計 菊池健一

5月1日(日)次年度四役打ち合わせ

く田子)

5月25日(水)「四役打ち合わせ」

立川幹事宅

6月12日(日)「次年度3役スクール」

真岡市

6月14日(火)「次年度四役打ち合わせ」

く田子)

6月15日(水)「準備理事会」

レストランばんび

6月23日(木)「準備次期正副委員長会議」

レストランばんび

6月24日(金)大久保太一常陸太田市長

平松太田警察署署長

L.小又克己

表敬訪問

7月2日(土)「フラワーロード花の植付」

7月2日(土)第三副会長担当合同委員会

新柳

7月4日(月)「交通安全対策協議会」

7月4日(月)「献血連合会常任理事会」

7月5日(火)「7月理事会」レストランばんび

7月12日(火)「献血連合会総会」L.秋山委員長出席

7月13日(水)「クラブ会長会議」

常陸大宮市 ホテルKAMEYA

7月14日(木)「7月第一例会」

商工会館

7月14日(木)「献血会場店主へ挨拶」

今後の予定

7月18日(月)財務・計画委員会 テーラー木下邸

7月22日(金)PR・IT・情報委員会 龍門

7月28日(木)「7月第二例会」商工会館

8月2日(火)「8月理事会」レストランばんび

8月7日(日)「8月第一例会:ガバナー公式訪問」

常陸大宮市

8月9日(火)「第1回献血奉仕」マックスバリュウー

L.アショク・メータ国際会長

インド・ムンバイのアショク・メータは、2005年7月1日に香港で開催された第88回国際大会でライオンズクラブ国際協会の2005-06年度国際会長に就任した。会長テーマは「飛躍への情熱」。

メータ会長は会社の会長、代表取締役を務めると共に、医療、教育、福祉、社会文化の12以上の協会の活動に携わっている。

1963年以来ムンバイ・シオン・ライオンズクラブの会員で、インドとアフリカ各地における30以上のアイキャンプの運営に携わった。インドでの大地震や巨大サイクロンなどの大災害に際しては国際的支援を動員した。また、インド・パキスタン両国のライオンズが発起したパキスタンへの平和使節として、両国の人々の間に精神的な橋を築こうという気風を注いだ。

メータ会長は、視力ファースト事業のために約1億5,000万ドルを獲得したキャンペーン視力ファーストの国際委員を務めた。またライオンズのフォーラムや国際大会で視力保護やその他の話題に関する論文を発表している。

傑出した指導力と貢献によって、メータ会長は国際会長賞23回、250人スポンサーに対するキー賞とメダル、新クラブ結成に対する19のエクステンション賞、クラブ内のベスト・ライオン賞、100%クラブ会長賞、40年間皆出席賞、100%地区ガバナー賞など数多くの賞を受賞。1986年にはムンバイ青年会議所から「マン・

オブ・ザ・イヤー」の表彰を受けた。マハラシュトラ州政府によりムンバイ大学の理事に指名、更に2001年にはムンバイ知事を務めた。アメリカ・ミズーリ州の世界大学から人文科学の名誉博士号を贈られている。



メータ会長はライオンズクラブ国際大会に24回参加し、アメリカ/カナダ・フォーラム14回、アフリカ・フォーラム25回、極東各国のライオンズ会議5回にそれぞれ出席している。地区ガバナー・エレクト・スクールでは10回にわたりグループ・リーダーを務めたほか、香港で開催された第75回国際大会で地区ガバナー・オリエンテーション・プログラムの委員長を務めた。

メータ会長とコキラ夫人、令嬢シタールさんはいずれも累進メルビン・ジョーンズ・フェローである。

キャビネットホームページより

333-B地区ガバナー L.柴 利夫

1. 会員増強とクラブの意識改革

日本ライオンズはこの10年間で約38千人の会員を減少させております。

種々原因があろうかと思いますが、ライオンズの活動がマンネリ化し、社会に受け入れられなくなった面があることは確かです。

今こそ原点にかえり会員の意識改革が必要であると痛感する次第です。

このことなしにはライオンズの再生は有り得ないと思います。



2. 歴史に学び新日本発見

国運を賭けた大東亜戦争に敗れた日本は、勝者が敗者を裁く極東軍事裁判で侵略戦争をした犯罪国として断罪されました。

その結果、日本の戦前は総て悪として認識され、戦前の歴史の大半は消しさられ、悪い面ばかりが表現され今日に至っています。

明治維新による日本の近代化の出発、日清・日露の両戦争に勝ち抜き世界の五大国にまでなった世界の奇跡と云われた日本の驚異的な発展の光の部分は完全に抹消され、影の部分のみ強調されました。

日露戦争でバルチック艦隊を敗った東郷元帥や旅順港を攻め落とした乃木將軍等の英雄は学校では教えられず、時の明治天皇の記載もない偏向教科書です。

誤った従軍慰安婦問題、南京大虐殺の虚構、侵略を侵出と書替えたとした教科書問題の誤報、靖国問題等々中韓両国は日本叩きに懸命です。

国家は光と影の部分があって当然であります。我々は影の部分だけでなく光の部分もある本当の歴史を勉強し、真の日本を発見すべきであります。

注) 時の日本統治の最高司令官マッカ - サ - は米国の極東軍事委員会で大東亜戦争は侵略戦争に非ず日本の自衛戦争であったと立派に証言しています。

3. 青少年に夢と希望を、高齢者には生き甲斐を

次代を担う青少年は国の宝であります。

青少年の健全育成はライオンズの大きな柱であります。

又現在の繁栄を築いていただいた高齢者に温かい手を差しのべるのもこれ又ライオンズの当然の奉仕であります。

4. 伝統文化の尊重と継承

日本は万世一系の天皇をいただく文化国家であります。

建国以来2千6百有余年に及ぶ歴史には、数々の世界に誇るべき文化があります。

この伝統文化を守り、次代に継承することは現代に生きる我々の義務であります。

5. 絆

親子・兄弟・友人・知人等の絆の喪失した結果、日本は曾てない犯罪大国になってしまいました。いまこそ絆の構築が焦眉の急であります。

小澤丸の反省

一年間を振り返って
前会長 小澤 浪男

昨年7月よりこの伝統ある常陸太田LCの会長に任命され責任の重さと不安の中でのスタートでした。ガバナンスローガンに基づき「原点に還り、クラブの活性化を」「喜びを分かち合える愛の奉仕を」の2つを掲げ優秀なる澤幡幹事と安藤会計と共に無事任務を全うすることが出来ました。「光陰矢の如し」と申しますが本当に長いようで短い一年間でした。継続事業である「敬老感謝ふれあいの集い」「ゲートボール大会」「チャリティゴルフ」は天気にも恵まれ多数の参加者で盛会裡に終える事が出来ました。「チャリティゴルフ」に於いては初めての試みであるショットガン方式を取り入れ、武藤泰彦委員長が繊細なるスケジュールを立て参加者の方々がスムーズにプレー出来ました事は委員長は基よりクラブ会員の手助けがあつての事と皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。理事会、例会には暑さ、寒さに関係なく出席され地域の為の奉仕活動、又会員同志の和やかな例会等一つ一つ心に残っております。これからも会員同志楽しみながら地域の皆様に喜んでもらえるような活動をしていきたいと考えております。最後になりましたが、木村名誉顧問、鈴木守キャビネット委員、菊池保裕地区委員の方々を始め会員皆様方の絶大なる御協力に対し心から感謝申し上げる次第です。

一年間を顧みて
前幹事 澤幡俊彌

ライオンズクラブ必携には「幹事はクラブ理事会の一員であり、会長および理事会の指揮監督のもとにクラブ理事会をはじめあらゆるクラブの会合の運営に協力し、又選ばれた光栄と責任のため、時として自己企業に優先して時間と労力をささげざるを得ない」云々と書いてあります。こんな重要な職務の遂行が出来るだろうか、不安で一ぱいのスタートでした。「原点に還り、クラブの活性化を」「喜びを分かち合える愛の奉仕を」と云うすばらしい会長方針のもとで、先ず出席率は100%が目標ですが、平均85%を下回らないように努力し、維持するため、感情に左右されずに常に謙虚な気持で、笑顔を忘れず、地域の人々から共感を得られるようなライオニズムの高揚に精進すべく努力を致す



覚悟でした。理事会・例会・各委員会の企画、アクティビティ等、忙しい日々が過ぎてしまい、この一年間を振り返り省みると、自分の未熟さと不甲斐無さを痛感した次第です。

太田ライオンズクラブの長い年月をかけて、築き上げてきたアクティビティも「敬老感謝ふれあいの集い」「チャリティゴルフ大会」「ライオンズ杯ゲートボール大会」等々、継続事業も勿論大切ですが、新鮮で面白い企画を実施するような努力も必要ではなかったかとも思いますし、又マンネリ化と云う点でも考え直す時期になって来たような気もいたします。比度、他クラブの方々との交遊もできました。いつも思うことですが、人間の幸せは決して社会的地位や、お金ではないと思います。人と人との温かい交わりこそが人間の心を豊にするのだと思うのです。

木村名誉顧問はじめ、会長、会計その他の多くの会員の皆様、そして事務局の宍戸さん、至らない幹事でしたが、御指導、御鞭撻の程誠に有難く、感謝の念で一杯で御座います、本当に有難う御座いました。

一年を振り返って
【クラブメンバーに只々感謝】
会計 安藤正一

一年間クラブの皆様には大変お世話になりました。

7月に小澤会長、澤幡幹事のもと会計を引受けたわけですが、クラブ三役での会計の役割は例会での特別会費の集金、又年会費を集金し理事会で承認された銀行に預金、幹事より指示された各種支払い及び各種振込みなど本当に細かい仕事が多かった事が実感です。

この一年自分なりに時間を繰り入れて何とか無事に役目を終える事が出来たと思います。

しかし、仕事上に於いて出席出来なかった時が多々あり、小澤会長、澤幡幹事又会員の皆様には御迷惑をおかけ致しましたが貴重な経験の場を与えて戴いた事に非常に感謝しております。

この一年間木村名誉顧問、事務局の宍戸様には大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。最後になりましたが今後当クラブの益々の発展と会員皆様の御隆盛、御健勝を祈念申し上げまして御礼の挨拶と致します。



1年の歩み

第39年度

2004. 7～2005. 6(平成16年7月～17年6月)

クラブ役員構成 (2004.7～2005.6)		会長 小澤浪男		会計 安藤正一		2年理事 大和田幸雄		1年理事 木下順曠	
333-B地区		前会長 助川是也		副会計 根本龍司		2年理事 藤田 守		1年理事 川崎卓男	
名誉顧問 木村敬之介		第1副会長 白土隆彦		L. T. 菊池健一		2年理事 赤須康雄		1年理事 城石 毅	
		第2副会長 井坂 勤		副L. T. 武子英二		2年理事 中川 倫		1年理事 鈴木 栄	
		第3副会長 武藤 均		T. T. 立川久泰		2年理事 石川一博		1年理事 武藤泰彦	
		幹事 澤幡俊彌		副T. T. 森山一政		2年理事 立川 新		監査委員 板橋英治	
		副幹事 坪正雄		会員理事 伊村智安		1年理事 寺門乙二		" 小又克己	
								LS連絡員 中川 倫	
月	例会・特別会合	ACT記録		特別事項					
7	6日 理事会	薬物乱用街頭キャンペーン	10H		市政施行50周年記念式典				
	8日 第1例会	フラワーロード花植え付け	28H	¥2,000	1R3Z内クラブ会長会議				
	22日 臨時理事会	LCIF1000ドル(鈴木守)	×1名	¥108,000					
	22日 第2例会								
8	6日 理事会	第1回献血会	133H	¥152,319					
		献血 54名17400CC							
	19日 第1例会	納涼例会(要害クラブ)	市子連球技会2名参加	8H ¥20,000	第1回地区ガバナー諮問委員会 那珂市				
	26日 第2例会	早朝例会	早朝美化例会	36H ¥15,000					
		顕彰祭資金協力		¥27,500					
		第41回青少年防犯柔剣道大会	8H	¥20,000					
9	7日 理事会	盲導犬の慰霊碑建立資金		¥10,000	大洗LCチャリティゴルフ 4名参加				
	9日 第1例会	薬物と防犯の講話例会	交通安全運動広報キャラバン隊参加	12H	高萩LCチャリティゴルフ 4名参加				
	24日 第2例会	月見例会			1R3Z内クラブ会長会議 4名参加				
10	5日 理事会	ライオンズ奉仕デー	40H	¥10,434					
	14日 第1例会	県政を聞く例会	第23回チャリティゴルフ大会	192名参加	那珂LCチャリティゴルフ 4名参加				
	30日 第2例会	地区ガバナー公式訪問	茨城新聞社へ	¥100,000					
			アイバンクへ	¥100,000					
11	2日 理事会	市民ロードレース大会	8H	¥20,748	勝田LC40周年 10名参加				
	3日 第1例会	敬老感謝の集い反省例会	中学生英語暗唱大会	8H ¥50,000	勝田LSC20周年				
	25日 第2例会	新そば味覚例会	敬老感謝ふれあいの集い	408H	¥1,086,116				
		新入会員歓迎例会	県立太田二高JRCへ		¥20,000				
			ピロス工房へ		¥10,000				
			くにみの会へ		¥10,000				
			市美術展覧会へ		¥10,000				
			赤レンガと銀杏まつり	60H	¥10,000				
			LCIF 20ドル	×56名	¥118,720				
12	7日 理事会	第二回献血奉仕	128H	¥111,390	第2回地区ガバナー				
	9日 第1例会	40周年準備例会 (地区役員公式訪問、 クリスマス例会)	献血 67名 23800cc		水戸LCクリスマス例会 三役出席				
	25日 第2例会		中越地震援助資金	¥116,683	大洗LC40周年 4名参加				
			くにみ感謝の集い	8H	¥10,000				
		チャリティバザー		¥141,150					
1	6日 理事会				LT.TT研修会				
	6日 第1例会	新春を寿ぐ例会							
	27日 第2例会	グリーンふるさと講話例会							
2	7日 理事会				第3回地区ガバナー諮問委員会 那珂町				
	10日 第1例会	ライオンズ研修例会			下館シニア10周年 5名参加				
	24日 第2例会	新市政を聞く例会			ひたちなかベスト10周年 7名参加				
3	1日 理事会				西那須野LC30周年 4名参加				
	10日 第1例会	次期役員指名例会			日立きららチャリティゴルフ 12名参加				
	24日 第2例会	40周年計画例会			日立きららチャーターナイト 5名参加				
4	5日 理事会				常陸大宮LCチャリティゴルフ 12名参加				
	14日 第1例会	花見例会			日立アークLCチャーターナイト 5名参加				
	24日 第2例会	333-B第51回年次大会			333-B地区年次大会				
5	6日 理事会		環境美化早朝例会	22H ¥14,828					
	12日 第1例会	環境美化早朝例会	第20回ゲートボール大会	276H	¥285,000	勝田グリーンLCチャリティゴルフ 4名参加			
	26日 第2例会	ゲートボール反省例会							
					第51回複合年次大会				
6	7日 理事会				第4回地区ガバナー諮問委員会 (大子町)				
	9日 第1例会	年度報告反省例会			次期クラブ三役研修				
	19日 第2例会	(クラブ泊年次大会)							
退会会員 中郡貞雄、赤堀平二郎、野内二三雄		ACT 合計		・金銭ACT 2,145,799円	年次大会アワード				
入会会員 11月 小林 等				・労力ACT 692時間	・社会福祉活動優秀賞				
2005. 6. 30 現在 会員 54名(内優待会員 6名)				LCIF 226,720	・IT活動優秀賞				
				献血 41,200cc(2回)121名	・ライオンズ情報優秀賞				
					・LCIF協力アワード銀賞				
					・LSC活動優秀賞				

(2004年7月1日～2005年6月30日)

運営・事業費 収支会計報告書

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
運営費会計		運営費会計	
国際協会入会金	5,600	前年度繰越金	1,017,713
国際会費	220,000	入会金	50,000
複合地区費	131,480	通常会費	4,479,000
地区会費	622,800	特別会費	995,000
ライオン誌特別負担金	80,270	登録料負担金	1,050,000
ゾーン会費	162,000	ファイン	2,060
地区役員派遣費	200,000	受取利息	17
年次大会派遣費	300,000	雑収入	0
会場費	35,975		
例会運営費	344,621		
会議費	565,260		
旅費	355,250		
通信費	346,177		
広報費	363,150		
什器備品費	223,929		
図書印刷	100,155		
事務用品費	118,757		
事務所費	120,000		
人件費	920,000		
交際費	571,803		
登録費	735,000		
頒布品購入費	12,525		
慶弔費	101,160		
会員祝品費	201,473		
エクステンション費	0		
雑費	69,660		
剰余金	686,745		
小計	7,593,790	小計	7,593,790
事業費会計		事業費会計	
事業費	3,111,057	前年度繰越金	357,088
		事業収益	394,059
		会員寄付収入	449,250
		会員拠出金	2,188,000
		賛助金	166,683
剰余金	444,023	物品販売益	0
小計	3,555,080	小計	3,555,080
会食費会計		会食費会計	
支払食費	1,911,092	会員会食費収入	1,296,000
剰余金	58,908	例会特別会費収入	662,000
		ビジター会食費収入	12,000
小計	1,970,000	小計	1,970,000
合計	13,118,870	合計	13,118,870

2005年1月1日 ~ 2005年6月30日のまとめ

第39年度 常陸太田ライオンズクラブ 後期 例会およびアクト



2005/01/06 新春を寿ぐ例会 梶山弘志 代議士 講話

新年にあたり、昨年の国会及び世の中の動きについての所感を少しお話ししたいと思います。様々な現象等を私なりの解釈で言うことでお許し願いたいと思います。

「説明責任」

首相のイラク派遣に関して言えば、首尾一貫するということが大切ですが、今は撤退の時期や方法を考えておくことが一番大切なことだと思いま

す。「いろいろ発言」のような言葉のいなしだけでは、もう国民も納得しないと思います。まずは、国民への説明責任を果たすことがもっとも大切なことだと思います。

「安全保障」

憲法改正問題、特に九条の問題に関しての自民党の考え方としては、自衛隊は軍隊である。このことをまず認めることです。そして、その軍隊は、日本国内及び近隣のみでの紛争に限定使用されるべきものであるということです。

「一億円事件」

橋本派のあの事件に関しては、一般の会社におきかえてみますと良く分かることだと思っています。一般の会社で社長や役員が経理に試算表を見せてもらえなかったのではどのように一億円を処理したか知りませんでした。このような言い訳が世間一般に通るかどうかが考えれば良く分かることです。

「郵政民営化」

今の自民党の中の空気を言えば、反対3/4、賛成1/4と言ったところでしょうか。一番の問題点は、何のためにするのかははっきりしていないと言う事です。この問題が重要であることは誰も異を唱える人はいないと思います。しかし、さらに重要で早急に審議しなければならないことが山積みなのです。（言葉を言い換えれば、郵政民営化の優先順位は低い）つまり、優先順位をもっとしっかり見極めて、ひとつずつ解決すべきと思っています。

「次期首相については」

言わゆる「中二階」と呼ばれる人達がありますが、来年9月の小泉首相の任期満了まで、座して待つようでは出番が無くなると思います。そのような時には、谷垣財務大臣か阿部副幹事長か次期首相候補になると思っています。どのようになるにしても、今年一年の活動は私にとっても重要なものになると思いますので今後とも宜しくお願い致します。



2005/01/27 1月第2例会

グリーンふるさと振興機構副理事長 田口清文
講師

H 1 3 年 4 月に副理事長に就任される。

グリーンふるさと振興機構は、市内西山堂病院の脇にある。身近なのだが、どんな活動をしているかよくわからない人が多いです。グリーンふるさとは茨城県の北西部に広がる18市町村の自然豊かな地域を指し、その未来をはぐくむ人材、産業を総合的に育てて、地域活性化と地域PRを推進することが目的です。昨年は地域通貨発行などを試験的に試行し、一応の成果を得た。今年も更に拡大するつもりであるという。地域づくりプランナーを結成し、毎年話し合っている。昨年はときわ路の脇に穴釜を50名に及ぶボランティアたちで作り、陶芸教室をやっている。火入れともなると、四日間燃やしどうしになるので、それに使うマキ集めなど大変な作業があり、地域の人たちと協力し合いながら進めている。7割の人が常陸太田で、残りは日立、大宮、那珂町の人たちである。1月12日～16日は、日立のシビックセンターで、作品展示会を11人の女流陶芸家たちと合同で開催した。その他、情報発信としてホームページや機関紙発行など、地域のPRをたくさんしている。



2005/02/01 理事会報告

39期 吼天57号 発行。出席者 役員に配布。

今回初めての試み、L木村名誉顧問から画期的という評価もいただきました。



2005/02/10 第一例会 ライオン研修

講師：常任名誉顧問 L.木村敬之介



2005/02/11 ひたちなかベストLC CN10周年

三役、木村、白土、井坂、根本

記念式典 11:00 から

我々は、9:30 発で小澤会長車と澤幡幹事車に別れて、L.木村敬之介、L.小澤、L.澤幡、L.安藤、L.白土、L.井坂、L.根本計7名で参加した。実行委員長は、紅一点のL.住谷まさ美サンで、わずか14名のLCで出来る範囲で活動すると唱えた。L.木村敬之介がガバナー時代に勝田ライオンがスポンサーで結成されたクラブで、当時26名の会員でスタートした。社会の風潮で少子化、不景気などで会員減少の波をまともに受けて、厳しい運営状況にもかかわらず、立派にCN10周年事業を完遂されている様子に、常陸太田LC一同感銘を受けてきました。

記念事業：社会福祉協議会 代表で川崎てるお氏に手渡された。

1. ユースサッカー協会に金一封
2. タイさくら基金に金一封
3. ユニセフに金一封
4. (社会福祉法人) 栄寿会に金一封

祝賀会

祝辞 333B地区常任名誉顧問 L.木村敬之介

乾杯 333B地区 1R2Z ZCP L.安正機

アトラクションは、乾杯の前にじっくり見てもらいたいということで乾杯はずいぶん長い時間お預けになったちょっと変わった祝宴でした。

1. よさこいソーラン 水戸藩
2. 水戸太神楽 柳貴家正楽社中
3. 子供囃子(ささら) 清櫻会

祝辞では、地区ガバナーL.鈴木正二氏の言葉が印象に残った。

時代は刻々と変わるものである。それに対して、理解と納得をして行動する時に今はなっている。ライオンズも時流を捉え躍進しなければならない。





2005/02/20 大洗LC CN40記念 13:00~

参加：寺門、城石、白土、根本

地区ガバナー L.鈴木正二 挨拶

Powerのある会長が多い。We Serveの精神を貫いてきている。世界平和ポスター、中越地震の時の労働アクティビティ（荷下ろし、14t車ガスボンベ、器具）。ライオン誌に大きく取り上げてもらって、発想、行動力の持ち主だ。時代が変わればやり方も変わる。人も変わる。大洗LCはもう21世紀型になっている、と賞賛の辞、

大洗町長 小谷隆亮 挨拶

交流を深め、地域発展のためのご協力に感謝する。S36大洗港、S38日本原子力誘致、その発展の時期に発足している。明日の見とわしを立てられない人が増えている中で、人材育成に貢献している。世直しの先頭に立って、教育、家庭教育、地域教育、生涯教育、合併をしない小さな光でも、きらりと光る光になっていきたい。

40周年記念事業

- 1、わくわく科学館広場へ石の彫刻「礁遊」寄贈
- 2、「しんかい6500」から見た海底の世界講演会
- 3、少年サッカー「大洗カップ」後援
- 4、大洗福祉協議会へ
- 5、茨城県アイバンクへ
- 6、茨城新聞社文化福祉事業団へ
- 7、国際平和ポスターコンテスト参加 333B特選

<http://park3.wakwak.com/~lions/movie/20050220-1.wmv>





2005/02/20 下館シニアCN10周年
二役、木村、中川

2005/03/10 第1例会
次期役員指名例会 あづま
次期会長 L.白土隆彦 に期待が集まった。



2005/03/24 第2例会
40周年計画例会 商工会館

33ページに、構成表を案内しております。

2005/04/14 第一例会 花見例会

次期白土会長のご挨拶と折り返しを過ぎて、肩の荷を降ろした現小澤会長。

久しぶりのカムバックを果たした L.川又と和やかに談話
TTタイム いつも興味深い話題を提供してくれる L.立川





会場案内嬢

2005/04/24 第2例会 振り換え

年次大会

参加者：小澤、澤幡、木村、菊池、赤須、中川、川崎、井坂、立川、根本、

受付担当で1日ぶらぶらとする。退屈だった。

年次大会録音

<http://park3.wakwak.com/~lions/sound/200504mono32000-1.wma>

木村名誉顧問紹介されている。

2004～2005年度国際アワード表彰

国際会長感謝状

地区年次大会顧問 L.木村敬之介

地区LCIF・国際協調・国際大会委員長 L.鈴木守

LCIF協力賞（銀賞）

社会福祉活動優秀クラブ賞

ライオンズ情報優秀クラブ賞

ライオネスクラブ活動優秀賞

IT活動優秀クラブ賞

永年クラブ在籍表彰（30年）L.助川幸也





2005/05/12 早朝例会
西山公園（ライオンズの森）

ちょっと参加者少なかった。小生も朝寝坊してすみません。
写真はL.川又からの提供です。
桃木の消毒、駅前の雑草取り、ライオンズの森の清掃など、各班に分かれて無事終了しました。



JR太田駅前の草取り



桃源郷作りの一環事業

毎年、桃の病害虫駆除
桃の寿命は短いんだそうです。病気に弱い
そうなので、手入れが肝心です。

- 1: 西山荘庭園のモモを消毒する澤幡幹事
- 2: 桃源橋のモモを消毒する小澤会長





2005/05/26 第2例会
第20回LC杯ゲートボール大会
 反省例会(田子)

選手宣誓をうける小澤会長。

晴天に恵まれて今年のゲートボール大会が5月26日AM9時～山吹運動公園で開催。合併して初の大会だけに旧水府村町田など参加チームが増え盛り上がった。西河内天寿会Aチームが栄冠を獲得。PM5時から反省例会。3つに分かれて戦った市長選挙戦も終わって、若干心配されたわだかまり……。しかし、ライオンズメンバーは皆紳士、終わればまた元のライオンハートそのものだ。 記：L.川又



結果：

- 参加チーム32チーム、総勢400名
 1) 西河内天寿会A 代表 根本亨
 2) 和久やらぎ会 代表 後藤三次
 3) 天下野6区 代表 長島昇

なお、クラブからの参加は、残念ながら予選落ちだそうです。実行委員長のL.武藤泰彦 は、怪我人などで、無事滞り無く終了したと報告された。大会役員の方ご苦労様でした。



- 大会会長 L.小澤
 大会副会長 L.武藤均 L.澤幡 L.安藤
 大会参与 ゲートボール連合会会長 天木元
 実行委員長 L.武藤泰彦
 副委員長 L.菊池(健) L.坏 L.武子
 L.森山 L.田子 根本梅男 石川重次
 審判長 富岡震治
 副審判長(兼進行係) 西野準四郎 吉川利夫 石川重次
 記録委員長 飛田一夫
 記録副委員長 磯野正夫 和田菊男 大森郁子





2005/06/09 6月第一例会 反省会

早いものです。もう一年が過ぎてしまったのですね。

太田での例会は本日が最後です。

小澤会長さん澤幡幹事、安藤会計、坪副幹事ご苦労様でした。

各委員会から一年を振り返って反省の言葉がありました。

来年につなげることが出来るといいですね。

録音(33分間 ビットレート19Kbit/sec)

<http://park3.wakwak.com/~lions/sound/20050609mono32000-2.wma>

TTタイムはなかなか難しいですね。一生懸命盛り上げようとしてくれた L.立川さん本当にご苦労様でした。

皆さん、19日の年次大会があります、もうひと踏んばりです。



2005年 6月 19日(日)

競技方法：ペリア12
 打数制限：PAR+3
 HDCP上 男：36.0 女：36.0
 HDCP下 男：-10.0 女：-10.0

順位	競技者名	ホール PAR	OUT									36	IN									36	GROSS	HDCP	NET
			*① 4	*② 3	*③ 4	④ 5	⑤ 4	*⑥ 4	*⑦ 5	*⑧ 3	*⑨ 4		*⑩ 4	⑪ 5	*⑫ 3	*⑬ 4	*⑭ 4	*⑮ 4	⑯ 4	*⑰ 3	*⑱ 5				
1位	菊池 健一		3	4	7	5	5	6	8	2	6	<u>46</u>	5	6	4	5	6	6	5	4	6	<u>47</u>	93	19.2	73.8
準優勝	澤幡 俊彌		7	3	6	6	6	7	9	3	5	<u>52</u>	6	7	4	6	5	6	5	4	8	<u>51</u>	103	27.6	75.4
3位	西野 一		5	4	7	6	4	6	5	5	5	<u>47</u>	5	7	5	5	5	5	5	6	<u>48</u>	95	19.2	75.8	
4位	寺門 乙二		7	3	7	6	6	7	9	4	5	<u>54</u>	7	7	4	6	5	6	5	5	8	<u>53</u>	107	31.2	75.8
5位	小林 等		6	4	6	6	6	5	6	4	5	<u>48</u>	5	7	4	6	5	5	4	4	6	<u>46</u>	94	18.0	76.0
6位	武藤 泰彦		4	4	5	6	4	4	7	3	5	<u>42</u>	5	7	5	7	4	5	6	4	5	<u>48</u>	90	13.2	76.8
7位	鈴木 栄		6	6	6	6	6	5	6	3	6	<u>50</u>	5	5	4	7	5	7	7	3	6	<u>49</u>	99	21.6	77.4
8位	中川 倫		7	4	6	7	5	5	8	4	6	<u>52</u>	7	8	5	6	5	6	6	5	7	<u>55</u>	107	28.8	78.2
9位	坪 正雄		6	4	6	7	6	5	7	4	7	<u>52</u>	5	7	3	5	6	6	5	5	6	<u>48</u>	100	21.6	78.4
10位	大和田 幸雄		7	3	7	8	6	6	6	6	7	<u>56</u>	6	9	4	5	5	5	6	5	8	<u>53</u>	109	28.8	80.2
11位	白土 隆彦		5	4	5	6	6	5	7	3	7	<u>48</u>	5	6	3	6	5	6	6	8	6	<u>51</u>	99	18.0	81.0
12位	石川 一博		7	7	8	6	6	6	8	7	6	<u>61</u>	6	8	3	7	7	5	6	6	7	<u>55</u>	116	32.4	83.6
13位	根本 龍司		9	4	5	6	6	9	7	8	6	<u>60</u>	6	6	4	5	6	9	5	6	5	<u>52</u>	112	27.6	84.4
14位	板橋 英治		8	4	7	7	5	5	5	5	11	<u>57</u>	4	10	3	5	5	6	5	5	9	<u>52</u>	109	22.8	86.2
15位	藤田 守		6	4	6	8	6	9	10	5	10	<u>64</u>	7	10	5	5	7	8	5	7	7	<u>61</u>	125	34.8	90.2

D.C. NO.4 鈴木(栄) NO.13 西野
 N.P. 鈴木(栄) 2. 大和田 1. 菊池 1.



2005/06/19 同好会ゴルフ

随縁カントリークラブ

鬼怒川森林コース

朝6:00時に富岡橋手前のコンビニに

集合し、9:00にコーススタート。

同好会ゴルフ 結果発表

会長 L.寺門



ニューギニア インパチエンスと言う花らしい。ティーグラウンドの脇に咲いていた。多年草で、いつまでもたくさんのお花をつけているとのこと。





2005/06/19 年次大会
クラブ年次大会（鬼怒川温泉）

小澤丸最後の行事です。一年間の報告をし、その労をねぎらいました。本当に無事ここまでできてよかったですね。L.鈴木ガバナーも、L.小澤会長のことをたいそう褒めていたと、L.木村名誉顧問から聞きました。

ゴングのレプリカ授与とゴング返還です。



次期三役
L.白土
L.立川
L.菊池





2005年7月1日 ~ 第40年度 常陸太田ライオンズクラブ 例会およびアクト



2005/07/05 最初の理事会

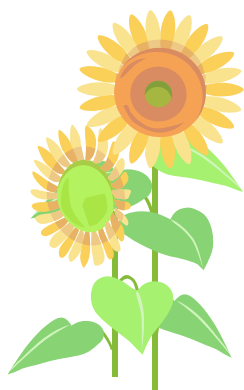
新旧三役そろい、1年の方針が決まりました。今年は40周年事業を控えておりまして、大変忙しい年になりそうです。



2005年07月02日(土曜日)

フラワーロード植栽参加
午後2:00 ~ 東バイパス
マリーゴールドを植えました。

前会長 L.小澤 新会長 L.白土 他多数。





2005年7月14日(木)「7月第一例会」商工会館
国際会長、ガバナー、会長方針を理解し、クラブの充実を
図る例会

白土丸出航であります。ボン ボヤージュ。

地区ガバナー：L.柴 利夫(真岡LC)

ガバナー スローガン

「1.分度 2.推譲 3.積小為大」

地区アクティビティ スローガン

「地域共生の奉仕」

私は郷土の恩人である二宮尊徳先生が生涯を農村復興に捧げられたその仕様である分度・推譲と積小為大をガバナー - スローガンとしました。

分度とは収入に応じた支出に一定の枠を設けることです。

推譲とは分度によって余裕が出た分を社会に還元することです。即ち奉仕活動であります。これはライオンズの精神と同じです。

積小為大とは小さなことでも積み重ねれば大きな成果を生む、これは勤労の勧めです。

会長方針

1. 地域に密着した活動により、共生を考えよう
2. 過去に学び 未来を見つめて40周年を成功させよう。

7月の誕生者：L.菊池、L.鈴木。

"Happy Birth Day to you ~。"



常陸太田LC結成40周年記念式典実行委員会構成表

会長 白土隆彦

幹事 立川久泰

会計 菊池健一

第一副会長 井坂 勤

第二副会長 武藤 均

第三副会長 石川一博

役職	部会長・委員長	副部会長・副委員長	委員
実行委員長	寺門乙二	渡辺 斉	木下順廣
大会名誉会長	木村敬之介		
大会顧問	尾関雪路	武藤均 梶山弘志	
総務部会	平山泰弘	板橋英治	
財務委員会	宮田欣三	立川久泰	梅原栄次
広報委員会	大和田幸雄	川又慎	塩原俊文
記念誌委員会	伊村智安	助川是也	根本龍司 西野一
記念事業部会	川崎卓男	澤幡俊弥	
アクティビティ委員会	城石毅	石川一博	
チャリティゴルフ委員会	武藤泰彦	町田聖治	菊池健一
式典部会	藤田 守	安藤正一	
会場設営	鈴木栄	武子英二	森山一政
式典運営委員会		小林等	
祝宴委員会	赤須康雄	坏正男	田子末雄 矢部由次
アトラクション委員会	中川倫	秋山敬一	黒沢知信
交通案内委員会	兼務(チャリティゴルフ委員会)		
登録部会	鈴木守	井坂勤	
登録委員会	菊池保裕	立川新	白土隆彦
接待委員会	小又克巳	檜山幸平	武藤均 平山義夫
秋田LC接待委	小澤浪男	助川是也	
{事務局}	宍戸富子		

過去に学び、未来を見つめて、
40周年を成功させよう

自由投稿

Ⅱ. 寺門乙二 幕末の東禅寺事件【文久 元年五月・1861年】

水戸藩の尊王攘夷派で主に激派の人々は行動で主義を主張しはじめた。当時の水戸藩にとっての不幸は尊攘派の良識派として重きをなしていた藤田東湖・戸田忠敞の二人が安政二年の大地震で失っていた。そして万延元年【1860】八月にはシンボルであった徳川斎昭公も亡くなり、指導者として藩全体を引っ張ってゆく人物がいなくなった。藩主 慶篤公は幕政にかかわっていたが幕閣にたいしての発言力もなく藩主としての指導力も弱かった。水戸藩士は いつの間にか藩内の権力争いをはじめ 保守派 尊攘派 とに分かれて対立していった。安政七年の水戸藩士十八名による大老井伊直弼を暗殺した櫻門外事件以後 水戸の尊攘派に対する幕府の取り締まりは厳しく 激しさを加えていった。文久元年 水戸に尊攘激派の玉造勢と称する一勢力が屯集し、俗に櫻田門の第二波と称された人々で尊王攘夷の実行を目論んでいた。一方で尊攘派の中には西丸帯刀・岩間金平らは 長州藩士 桂小五郎らと軍艦「丙辰丸」に於て約定を結び 水戸藩の進むべき道を定めていった。『丙辰丸成破の盟約』といわれ 水戸は 破、長州は成を取って 幕政改革をめざすことであったが、長州の藩論変更と水戸藩の内乱によって反故となったが、水戸尊攘派は 破 つまり世を乱し混乱を起こさせてから 幕政改革を成すという事で、破の第一の目的は攘夷であった。それは斎昭公が生涯を通じて世に示した方針でもあり、この盟約は幕末の水戸と長州の命運が予言されていた。当時の世情は、まさに攘夷の時代がきたかと思われる様な事件が起こりはじめていた。安政六年 ロシアの士官達が攘夷志士によって殺傷され、万延元年 民衆の憎しみの対象となっていたイギリス公使付のイタリア人の殺傷事件、アメリカ公使館通訳のヒューストンの暗殺、いづれも事件は水戸藩士との風聞が広がった。又 対馬へのロシア人上陸問題がおこり攘夷の時期がやってきた。こうした背景のもと東禅寺事件は起きた。東禅寺が目標になったのは、イギリスの公使オールコックはこれまで異人殺傾事件について激しく幕府を攻撃し、志士の憎しみの対象となっていた。以前より志士のねらいはオールコックであり、その宿舎、イギリス公使館が品川の東禅寺であった。直接の動接は公使が香港からの帰路 長崎から京都を見物して江戸へ帰る計画をもってしたが、孝明天皇は全くの異人嫌い、天皇の志を尊重する水戸藩士はその聖地京都が夷狄にふまれる屈辱だとする意見を貫いたので京都を通らず帰着した。その厳しい警護も解けた時をねらって襲撃は実行された。事件が起こったのは文久元年五月二十八日の夜半。



争いは短時間で浪士組は引き揚げたが、この事件が各方面に与えた影響の大きかった事は 維新史料綱要の記録なぞ当時の記録の膨大であったことでも知られる。その活劇の状況は 水戸藩史料の水戸幕末風雲録によると文久元年五月二十八日、早くから水戸に於て尊攘運動に身を挺してきた十九名とも又二十一名とも数えられる志士が 今は是までと爆発し、品川に会して決別の宴をばり、是夜東禅寺を襲撃する。先是 幕府は浪士の暴行を慮り 各国公使を護衛すること頗る嚴重であり、東禅寺は西尾藩郡山藩、二審に警備を命じ、且つ旗下士を選抜して番兵にあて、用意甚だ蜜なり。然れども壯士は敢えてこれを意とせず、咄嗟正門より闖入して直ちに館内に迫り 三手に分かれて乱突撃外人二名を傷け、將に公使の室に入らんとする時に室内暗黒にして障壁相触れ、刀を振るうに便ならず、公使オールコック周章僅かに身を脱して逃げ去る。ピストルの響く中 追撃及ばず、宿衛の兵防戦最も力む。壯兵 ついには志を得ず、浪士二名奮闘して死し 一名は創傷を負い捕われ、その他は皆退散せり。而し衛兵の死傷発表なし、二十九日にはその勇敢な働きで賞されている。この事件は英国に対する戦いを挑む行為であるとして英軍部隊の上陸まで主張してきた。

事件後 東禅寺より退散せし壯士は 或る者は同夜品川駅舎に退き大白を挙げて新東の快挙を祝しもしたが、爾後 或いは死し 或いは逃れ 其形跡は各々異なり幕府は全国に令し逃亡者の捜索と逮捕を嚴重にすることを命じ厳しい取り締まりを始めた。水戸藩では幕府への『うけ』を考え人事刷新を行ない 尊攘派が要職を離れ中間層 門閥派がかえり咲いた。多くの襲撃組が四方に逃散し 潜匿して後學を計りしも捕吏の来たり困むところとなり 後獄につながれ過酷なあつかいのあまり獄中死する者が続出した。

この襲撃事件に参加した大伯父【祖父の兄弟】木村孝之介も逃亡の後、馬頭村で 捕縛され唐丸籠で水戸の獄舎におくられ投獄された。就囚獄中において獄中で使う 手ふきんにムシロに座す画像を季山入人なる画人に書かせ 辞世の詩を自書し

文久元辛酉 夏五月二有八日夜

高名輪東禅寺仁天詠留

同年神無月 十又三日就囚

行年十有八才 木邑孝之介源正治

きみがため 思う心は梓弓

引志めてこそ ゆるがなきや和 於獄中

死を覚悟の遺品として生家におくり届けられたものが拙宅に残されております。

後 時世の変化に応じ 水戸藩庁も再び尊攘派の人々が政権を握り 尊攘派にゆかり人が赦免され、木村孝之介も釈放され 潮来文武館へ屯集し、行動していた。

本題に戻り 事件に於ける水戸浪士の主張は『日本が外国人によって汚される 踏みにじられるのは我慢出来ない 攘夷という大義によって これを打ち払い、天皇や將軍の安泰を願って命をなげうた』という伝統の夷狄観であり倒幕の意志をもったものではなかった。

東禅寺事件の影響は延って幾多忠憤憂国の士民に及ぼし、文久元年より翌年に亘り、「前後捕縛せられし者 あげて数う可からず。刑死された者 獄死した者 其の惨憺たる状況は幾んど言う可からざるに至れり」と時代は惨状を呈するに至った。

こうした事件を端緒として幕府をして対外上ますます困厄の地位に陥れたが、幕府はいったん国是と定めた開国の方針を遵守し、日・米修好通商条約本書批准のため使節団を派遣した。文久二年は皇女和宮降嫁による公武合体で歩み出したが、朝廷はあくまで攘夷を主張していた。

水戸藩攘夷派の人々は これらの動きを打開する火の手が高まり、江戸城阪下門外に事を構え 一月十五日開国をすすめた井伊直弼の後継者であり手足であった 老中安藤信正を襲撃した。

尊王攘夷の大典を正し、君臣上下の誼を明にし、天下と死生を俱に致す、と水戸学の本領を發揮せるものである。櫻田義學 東禅寺襲撃 次いで阪下門外の変 ……天地皆]震動する幕府に対する博浪[シ]の一撃であった。

『一葉落ちて天下の秋を知る』が如く幕府の権威が損じ 落潮の勢殆ど支えきれず、三百年の杜稜を覆すことが出来るとして 歩一歩討幕の一路を邁進し こういった活劇を動機として 寺田屋

事変 島津薩摩藩の東下 薩長藩の生麦事件 將軍の上洛 禁門の変… と続く。

阪下門事件により 安藤は失脚し 幕末に於ける気運の転換に一の動機を与えた。

九月になると、薩・長・土・藩尊攘派の運動の結果朝廷から幕府へ攘夷勅使の伝達がなされた。諸藩へ大赦の命がくだり 国事に殉じた者、刑に服している者に日がさしはじめた。徳川斎昭公に冤罪が解け大納言を贈られ、又戊午年以来 国事に捕われた者はじめ 東禅寺 阪下の門外の変等の志士に対して赦免の沙汰あり 処罰を受けた藩士が大手をふって歩みはじめた。斯くして雲霧漸く晴れて天日の光を仰いだが、しかし、間もなく水戸の天地は 天狗党による疾風迅雷を捲くこととなった。

翌文久三年は攘夷決行の年となり、長州藩 下関で米艦を砲撃、英国艦隊と薩摩藩の砲接戦 いづれも破れて壊滅的な打撃をうけ夷狄の実力を知り、世の不安は現実となり 攘夷は不可能であると知らされ、攘夷の声はしずまっていった。

幕府は朝廷を治したて幕政改革への道が開かれ 国論が一転し攘夷派の大名公卿とともに 武備の充実がなされるまで攘夷実行を延期すると政策変更し、朝廷もその義を容れ『醜虜征服は国家の大典、遂に征伐してこらす事を 興さずんばあるべからず』

然りと謂えども無謀の征夷は実に 朕が好む所に非ず』 と何となく開国の天子のみこころを漏らし給えるものあるに攘夷実行を企図せる急激な人心自ら安んぜざるものあり 中でも水戸藩の尊王攘夷派は納得せず その鬱勃たる弱気爆発して攘夷決行を目指して 遂に天狗党の筑波山の義學となって

ゆくのである。

京の攘夷派は地下にひそむ事になるが たとえ弾圧鎮圧があっても根強い実行行動をとり攘夷の炎は消えることはなかった。京都においてこの攘夷派を取り締まったのが新選組であった。

筑波山舉兵から敦賀まで

元治元年三月【1864年】

筑波ねの峰より落つる男女川 国を憂いる赤心の、譬えば木の下水の横もり積もつて淵となる如くその鬱結し集合して終に狂瀾怒濤の勢を激成したのが筑波山舉兵の因となり、文久元年三月、藩の随員として京都に在った時に長州藩の桂小らと東西侍學を約し 軍資金の援助も得て帰国した当年二十三歳の藤田小四郎が発頭人となって舉兵の画策がすすめられた。

舉兵の動機は、幕府に対して横浜の鎖港攘夷の断行を建議し、朝廷に対して勅令をもって鎖港を幕府に従うことを奏請し、醜夷の陣営…横浜の外人居留地…に討ち入て忠義の鬼となる積りなれば攘夷先鋒の勅令を賜る様に嘆願書を提出。かれらは志死士壮気に酔い東西呼応して兵を挙げる計画が背景にあったことなどで舉兵の成功を気やすく信じ幕府をして簡単に攘夷が出来ると確信していた若気の至りであった。

尊王攘夷派の天狗党の潮来 小川 玉造 湊の郷校の同志で 田村稻之衛門を統帥大将として六十人程で筑波山に舉兵し尊攘敬幕の大義に基づき決起したものであったが数日にして百五十人を超え次第に勢力を増大していった。日光東照宮で檄文を発し舉兵の名分明らかにし、広く同志を募った。然し一方世情を騒がず決起であり倒幕派と見なした水戸藩の佐幕派の保守門閥派と諸生派が反天狗という点で結集し、『天狗筑波勢』と『諸生派』、この両派の党争はただ政争という形にとどまらず 天狗勢鎮圧追討に出陣した幕府追討軍と提携し戦争状態となり、次第に軍事力を行使した闘いに入り いよいよ混迷の度をつよめることになり本格的内戦となった。決起の趣旨とした尊王攘夷は一転して天狗・諸生の内戦と化していった。やがて天狗勢は「天狗禍」と受け取れる状況がうまれるようになり次第に民衆から孤立していった。これからは水戸藩の正規軍や幕府軍、諸藩の追討軍、を敵として戦っていかねばならず郷土防衛隊に道を阻まれ、諸生派以上の多くを敵にして戦い 湊郷校一帯を主要根拠地としていたため激戦が続く この騒擾を鎮撫にむかった宍戸藩主の松平頼徳公は筑波勢とみなされ捕斬され降伏する。

『また湊のこの地で 曾祖父の『木村準之介』は戦いで落命しております』

天狗党にとって不幸だったことは世情の変化だった。同志として頼りの長州藩に対し幕府は征長令を発して攻撃をはじめた。また外国の艦隊に下関が占領され 長州自身動きがとれなかったし 天狗党は盟約の援護なく孤立した。

この那珂湊の戦いに水戸藩元家老の武田耕雲齋、山国兵部らの一隊が筑波勢と共同戦線をはるようになるが、長州藩が敗れてからは尊攘派は政治的にも不利になります。窮地に追い込まれた。一進一退の戦況を繰り返し、有利に展開していた戦況も大きな分裂がおきて亀裂が生じ、二ヶ月に及ぶ激戦に終わりをつげ、天狗党勢は湊を退いて大子村に集結した。この地で八百名程の浪士軍となった天狗党勢、総大将に武田耕雲齋をいただき、天狗党決起の心情を京都に上り『朝廷』に嘆願することに決定し、厳しい軍律をしき、軍議して軍隊を編成して、十一月朔日京都に向かい野州路へ出発していった。

西上は軍議を重んじ、苦しい行軍を強いられ、天狗党行く先々追討の幕命を受けた諸藩兵の抵抗をうけ、通路を阻まれ、激しい戦いを繰り返し、敵を追う様に進軍し、又時には有志の無言の支援があったりしながらも辛難万苦をきわめた旅路であった。下仁田から信州路へ、和田峠の険しい難所では激しい戦闘に勝利し、下諏訪を経て伊那谷を南下して、中山道の馬籠から美濃路に入り、幕命により出陣した諸藩の布陣をみて越前との国境の険阻な馬のすすめぬ山道を武器弾薬、荷物を肩に負い難路を進み、這法師峠を積雪で埋もれた道をよじ登り

「寒風肌を裂き兵馬凍る」寒気が激しく、行く先々民家は悉く焼かれ、宿もなく雪中に露営し、雪と寒さと飢えの苦の敵の中で、木芽峠を越えて敦賀の新保駅に到着した。それは十二月十一日で大子村を出発して既に四十余日を要し、着る着物も心もぼろぼろになっていた。

武田勢の浪士隊の軍隊が京都に迫るとの情報で、京都は俄に騒然となった。一橋慶喜は禁裏守衛総督の要職にあり、自分の生家の水戸藩士が大挙して上り、京都を騒がしては恐懼に耐えないと、自ら語って水戸浪士の鎮撫に出陣した。諸藩に出兵を命じ、水戸藩兵を先鋒に全軍の指揮をとり、総攻撃の日を定め出陣を命じていた。

武田勢浪士の一行が新保駅に到着した時には、冬期の長い行軍で浪士隊は全く疲れ切っていた。元々、この武田勢は全く当初から戦意があったわけではなく、自分達の微哀を天朝に達するのが悲願であったので、金沢藩に朝廷への「歎願書」と「始末書」とを託し、一橋慶喜公への取り次ぎを頼んだが、慶喜公はこれを受け取ろうしなかったばかりか、金沢藩に浪士軍討伐に出陣する様命じた。武田耕雲齋浪士隊はこれまで、ひたすら頼みとしていた慶喜公が追討軍を率いて出陣した事を初めて知り、大いに失望し進退に窮したが、ここで衝突すれば後世に汚名を残すとして降伏を決意し、武田第八百二十三名が降伏した。身柄を金沢藩に託し、同藩は武士道をもってこれを受け、敦賀に移して、本妙寺、本勝寺、長遠寺の三ヶ寺に収容した。ついで幕府軍の惣督、田沼意尊らの幕吏により幕

府方に引き渡され、今度は流賊の取り扱いで、狭い十六棟の練蔵に拘禁し、惨楚残酷の処置をとり、幕府側は憎しみをもって虐待した。幕府側の取り調べは簡単であった。二月一日裁判を行ない、二月四日、武田耕雲齋以下二十四人を斬首し、首領の四人の首は水戸へおくられた。同月十五日に百二十五人、十六日に百二人、十九日に七十五人、二十三日に十六人、と死刑は三百五十二人に及び、若年の者は遠島処分にされたが、島流しば実行されず、預かり身のまま許されている。誠に悲道に過ぎる惨忍、極める処分であった。

幕府の処断は更にその家族にも及び、悲惨を極めた。耕雲齋の一族は三歳の幼児まで殺害される首領だった多くの家族も斬首された戦慄すべき党争の過酷さをみせつけており、この様に擧兵や西上に加わった当事者ばかりでなく、その家族にまで及ぼした悲惨さは計り知れない。

他の藩での影響としては、擧兵から状況報告を受けた薩摩藩の西郷隆盛は『慶喜非情、頼むに足らず』と天狗党の末路に万斛の涙をそそいだ、という言葉があります。

一橋慶喜公が水戸領民の不評的になったことは言うまでもありません。

天狗党には、尊王も、敬幕も、不平も、破壊も同居していた。明治になっての調査で殉難者とみられた天狗党員一千四百九十二名、水戸領内、関東各地に亘っている。

年齢も十九歳から二十九歳までが圧倒的に多く、封建的な身分をこえて尊王攘夷の旗印しのもと正義感の強い青年達の旗挙げでありました。この擧兵の集団に、敦賀の刑場の露と消え、やがて「従五位」を賜った、三番目の大叔父

木村園三郎も加わっており、忠死の真心が認められている。水戸の常盤共有墓地に隣接の地に、昭和四十四年、幕末の義人をまつる回天神社を創建して、春秋例祭が施行されている。

敦賀の刑場の跡の松原には、明治三十一年、松原神社を建立し、武田耕雲齋はじめ英霊永久に鎮まり給うており、毎年十月十日、明治天皇勅使を追わし、祭典費を卸下賜になった日を例祭日としており、昭和天皇も祭典費を下賜され、天恩が枯骨に及んだのであります。

おわりに、幕末維新时期『水府の學』と呼ばれた独特の思想が体系化され、広く全国に伝播されていった。改革志向の諸藩の有志、新時代を夢みる青年達にとって「水戸」は正にメッカであり、その思想は全国の志士に受け継がれていった。徳川斎昭公の『弘道館記』、藤田東湖の『弘道館記述』、金沢正志齋の『新論』、これらは幕末攘夷派運動の志士達の「聖書」とも言われ、幕末維新の思想界に大きな影響力をもっていたと言われている。

而し 幕末の水戸藩には 理想の藩政改革派の実現派と、それを不満とする批判勢力の旧来の実権をもった門閥派の勢力の対立、藩内の主導権を握る党争が 両派が崩壊するまで とどまるところを知らずに継続し、お互いに極重悪人と心底より信じて骨肉を削る闘争に明け暮れた。
水戸藩は 西南雄藩の 薩摩藩 長州藩 土佐藩 肥後藩 といった諸藩の有志には 世界に目を向けた新時代の雑想が見えて来ていたのに対して、藩内の激しい争乱 惨劇により多くの人材を失い 維新を目の前にして 活動家の志士が命を断ち 命を断たれ 藩内の人々は萎縮し 羅新政権成立時に 維新政府の新政権への参加を果たすことが出来なかった。

【寺門乙二記】

参考文献
水戸幕末風雲録
茨城県史
水戸の明暗
松原神社祭神事歴



会員消息 2005/01～

退会:

赤堀平三郎 退会日:2005/03/31

野内二三雄 退会日:2005/06/30

2005/6/30現在 会員54名(内優待会員6名)

編集後記

吼天は、広報という意味のほか、会員皆様の活動記録という役割があると思います。情報収集には、努めておるつもりですが、なかなかすべてを集めることは難しく、今回の掲載にもれたものもあると存じます。

そのご無礼は寛大な目で見ていただければありがたいです。今回もすべてを電子化し、電子媒体で保存配布いたします。今後の新しい記録保存方法として、会員皆様に浸透していただければ幸いです。

この度、退会者が出たことは、本当に残念です。広報活動がいたらなかったと反省するところです。この吼天を読んでいただき、楽しく活動している姿に感動していただき、クラブ活動に更に興味を持っていただければ、良かったのと思う幸いです。

寺門ライオンの古文書研究から、地元の歴史を学ぶことが出来、大変ありがたいです。若い世代に見て欲しいと思い、この紙面に紹介させていただきました。大変長文ですので、時間があるときには是非見てください。

最後に校正で至らない点があると思います。忙しい日々の中で作成しておりますので、判読できる部分はお許しお願い申し上げます。

記 IT・PR・情報委員長 L.根本